



学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

私たちに与えられた 素晴らしき力!



日本の、ある学者の説によると、私たち人間には、他の動物にはない



「ヒト」だけに与えられた素晴らしい力があるのだそうです。それは

『今、目の前の事だけでなく、時間や空間を超えて、未来を思い描き、夢や希望を持つことができる力』
そして、それがあからこそ『未来の夢や希望を叶えるために努力することができる力』のことで

(※ 研究中の仮説です。)

人間とその設計図がほとんど同じと言われるチンパンジー。その遺伝子情報、簡単に言うと「体の設計図」は98.8パーセント、人間と同じだそうです。それゆえ、人間をはるかにしのぐほどの記憶力等を持っています。しかし、チンパンジーの記憶や認知が「今」「ここ」にあるもの、「目の前にあるもの」に集中しているのに対し、人間は常にそこにはないものまで認知しようとするのだそうです。それ故か、人間の脳はチンパンジーの3倍。だからこそ、今の事だけでなく、今は見えないずっと先の未来を想像することができるのでしょう。神様が与えてくれたこの素晴らしい力。使わない手はありません。期待すべき自分の未来を具体的に想像し、夢や希望を持ちたいものです。夢や希望が明確になればなる程、その達成の為には「何を、どのようにすればよいか」、「目的」や「目標」が具体的にになり夢や希望実現へのスタート、「努力すること」を始めることができます。「自分はこうなりたい、こうありたい」と目的をもって、活動し自分を伸ばしてほしいと思います。

(※ 以下の内容は、以前何かで目にして記録しておいたものからの抜粋です。)

(1) 「目標」は『目的』のためにある。

「目標」とは、「目的」を達成するためのステップです。「目的」を達成するために目指すべき行動や、その道筋を示したものが「目標」。従って「目的」がないのに「目標」があることはありえません。

(2) 『目的』は抽象的に、「目標」は具体的に

「目的」は例えば「笑顔を目指す」とか、「世界平和」など概念的なものでもいいのです。しかし、「目標」は「目的」を叶えるための道標となるので「具体的に、達成できる手段や方法」が分かるものである必要があります。



(3) 『目的』は『見たいもの』、「目標」は「見えるもの」

目標は目的に向かう「道標」なので、目標に向かって「どう行動したら良いのか」がわかるものでなければなりません。そして、その「目標」に到達することを実感でき、「目的」により近づけたと感じられることが大切です。

(4) 『目的』は、行き先。「目標」は、その過程。『目的』は「目標」の先にある。

「目標」は『目的』に至るまでの道筋であり、過程です。一つの「目標」を達成したら、次の目標を定めて、更に先へと進みます。そのことにより、一歩ずつ『目的』に近づいていけるのです。

「目標」を達成していくことで、『目的』に近づくことができます。ですから『目的』に向かって、明確な「目標」を立て、一つ一つクリアしていくことが大切です。

(5) 『目的』は『一つ』、「目標」は「複数」

『目的』に向かい、「目標」を定めて進んでいく中で、「目標」は一つとは限りません。能力や目標の大きさなどによって、大きな目標でドーンといっきに進む場合もあるでしょうし、小さな目標を複数設定し、コツコツと一歩一歩取り組み、達成していくこともあるでしょう。

(6) 「目標」はあきらめても、『目的』はあきらめない。

一つの目標を達成しても目的に近づけない場合もあります。別の目標を設定した方が良くもあります。ゴールである「目的」を見据えて進むべき方向を修正したり、更新したりすることも必要です。